

- ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書はいつでも確認できるように、大切に保管してください。

この度はプラウ「ストーン焚き火台 FBF01」をご購入いただき誠にありがとうございます。ご使用いただく上で、ここに示した注意事項はあなたや他の人への危害や損害を未然に防ぎ、事故などを回避するための大切な注意事項です。必ず下記の注意事項をお守りいただきご使用ください。

## 注意事項

### ▲ 危険 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目

- 本製品は屋外専用となります。屋内やテント内、車中などの密閉された場所や狭い空間では絶対に使用しないでください。
- 燃料や着火時にガソリンやアルコール、灯油など揮発性の液体等を使用しないでください。爆発など重大な事故を招く恐れがあります。
- 乾燥した草原、木材や樹脂製の床材など、延焼の恐れがある場所で使用しないでください。
- 使用中は、本製品のそばを離れず、目を離さないでください。
- 本製品は使用中は大変高温になります。使用中は触れたり接触しないようくれぐれもご注意ください。
- 本製品に乗ったり、座ったりしないでください。
- 本製品を使用する際は必ず近くに消火器や水の入ったバケツ、消火剤などをご用意ください。

### ▲ 警告 人が損害や負傷を負う可能性が想定される項目

- 本製品にヒビや割れ、異常が見られた場合は直ちに使用を中止してください。
- 燃料に木材や炭等木質以外の物を使用しないでください。
- 本製品を傾斜地や不安定な場所で使用しないで下さい。転倒や事故につながる恐れがあります。
- 風の強い日や雨の中で使用しないでください。
- 本製品の使用中に可燃性や引火性のあるものを近くに置かないでください。
- 本製品を使用中は移動したり、動かしたりしないで下さい。
- 本製品をご使用後は必ず十分に温度が冷めてから灰や煤などを適切に処理して雨風の当たらないところで保管してください。

### ▲ 注意 損傷や故障を負う恐れがある項目

- 芝やウッドデッキ、熱に弱い床材の上で使用すると熱により変形や火災の原因となりますので使用しないでください。
- 本製品を公園や河川敷、キャンプ場などで使う場合は必ず各自治体や管理者にご確認ください。
- 本製品を焚火以外の目的で使用しないでください。
- 人工石や受け皿に直接炭を入れると熱により変形したり、割れる可能性があります。必ず炭床網を敷いてから炭を入れて使用してください。
- 本製品は一般家庭での使用を目的としています。業務使用は想定されていません。
- 緊急時以外で消火の際に水などをかけて消火したりしないでください。人工石は急激な温度変化を与えるとひび割れや劣化を起こす場合があります。ご使用後は時間をおいて冷却してください。
- 使用後は雨風の当たらない風通しの良いところに置いて保管してください。
- 焼き網や炭床網は消耗品です。汚れたり劣化してきたら新しいものと交換してください。部品の販売については販売元もしくは発売元にお問い合わせください。



## 梱包内容・スペック

- 素 材：本体 / 人工石、木製カバー / 木材、焼き網・炭床網・受け皿 / ステンレス
- サイズ：435×435×230mm
- 重 量：7.0kg
- 内容物：焚き火台本体 ×1、炭床網 ×1、焼き網 ×1、受け皿 ×1、木製カバー ×1、取扱説明書 ×1

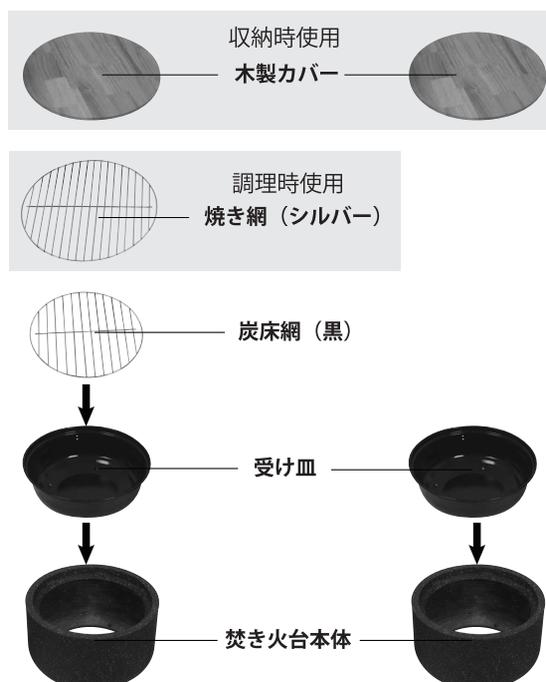
## 使い方

### 注 意

- ・火傷にご注意ください。ご使用の際は必ず tong や耐火グローブなどをご使用ください。
- ・ご使用時は必ず近くに消火器や水の入ったバケツなどをご準備ください。

### ■炭の使用時

- ① 焚き火台本体の中に受け皿・炭床網を順に入れます。
- ② 着火剤・炭を入れます。
- ③ 着火剤に火をつけます。
- ④ 炭に火が回ったら完了です。
- ⑤ 炭火調理をする場合は焼き網を置きます。



### ■薪の使用時

- ① 焚き火台本体の中に受け皿を入れます。
- ② 受け皿に着火剤、薪を入れます。着火剤の近くには細めの薪や木くずなどを寄せておき、薪は空気が取り込まれる程度の隙間を空けておくようにします。
- ③ 着火剤に火をつけ、薪に火が付いたら少しずつ追加の薪を入れていきます。

- ・中に炭や薪、灰が残った状態で木製カバーを使用しないでください。
- ・炭を入れる際は必ず炭床網を下に敷いてください。本体や受け皿に直接、炭を入れて使用すると破損の原因となります。
- ・薪や炭の入れすぎにご注意ください。
- ・ご使用後は熱により色に変色する場合があります。

## メンテナンス

- ・ご使用後は、必ず本体の熱が冷めるまで十分に時間をおいてからメンテナンスを行ってください。
- ・焼き網、炭床網は使用後、焦げカスや煤がついている場合は中性洗剤などで洗い、よく乾かしてください。
- ・受け皿や炭床網に残った炭や灰は灰取バケツなど金属製の容器に入れて、数日後に処理してください。鎮火しても熱の籠った状態で乾いた草の上や、可燃物と一緒にすると発火の危険があります。
- ・焚き火台本体は洗剤を使用したり、水洗いをしないでください。汚れがひどい場合は水で濡らしてよく絞った布巾などで拭いて汚れを取り除き、よく乾かしてください。
- ・汚れを落とした後は日当たりを避け、湿気の少ない場所で保管してください。